

カリキュラム・イノベーションの 理論的・実践的研究

教育連携校の視点から

附属中等教育学校
副校長 村石 幸正

2013.12.8
東京大学福武ホール

附属中等教育学校の役割

- 最終的には、次の学習指導要領およびその後を視野に入れたカリキュラム・イノベーション(革新)の可能性と条件を探ることが目的である。
- 東京大学教育学部附属中等教育学校との連携を中軸にすえ《中略》具体的な実践の在り方を探求する。

学校教育高度化センター 基盤研究A ホームページ

附属中等教育学校では

- 12の実践研究プロジェクトが展開
- 全教員(42名)が、延べ77名参加
- 学部・研究科と中等教育学校教員が一体となってプロジェクト研究に取り組んでいる
- 全教員に記名式のアンケート

特定のプロジェクトの成果について： 成果を学習指導要領に取り入れることは可能と思うか

思う：22

思わない：1

その他：19

- 置き換えるのではなく、組み入れることで可能になる
- 可能かもしれない
- 可能なものもある
- 学習項目ではなく、事例としては可能
- 教科を越えていくものであるため、直接的には難しい
- 普遍的なところまで整理するためには、もう少し時間が必要
- 方法を変えれば可能。現在のままでは不可能
- 教科の枠が残っていると難しい

どのような内容と置き換えることができますか

- 置き換えというよりは、領域への追加
- 社会や道徳の一部と置き換えることができる
- 置き換えではなく、延長上にある
- 職業体験や進路学習
- 指導要領や解説の書かれ方を変えていく
- 学校設定教科として
- 現状の教科にそのままいれても負担はほとんどない
- 家庭科、総合的な学習、HR(特別活動)などで
- 教科書の練習問題に取り入れる

置き換えによってどのようなイノベーションがもたらされるか①

- 広い視野から学習を考えられる学習者が生まれる
- 豊富な概念的知識を獲得し活用しなければならないという点
- 共生社会についての理解がより進む
- 論争的な課題について生徒自身が考え、意見を交流することを軸に置きながら知識を習得していく、という授業のあり方への変化
- 生徒主体の学びがさらに広がる
- 普通教育に職業教育を取り入れる

置き換えによってどのようなイノベーションがもたらされるか②

- 教科の再編の可能性
- 「多様な生き方」という考え方の提示
- 学習や特別活動への動機づけ
- 教科内容の見直し、期待する能力の育成の問い直し、学校教育のあり方を見直し
- 司書の地位の向上
- How to do から How to be, What to be に
- 学校内でのより広い連携

今回の実践で、生徒はどのように変わったか①

- まだよくわからない(多数)
- 教員の視点が変わっていけば、生徒の活動にも反映される
- 物事を、少し新しいイメージで見られるようになった
- 英語や日本語を言語としてとらえる必要性を感じつつある
- 非言語的なテキストを意識的に分析しつつ受容する態度が身についた
- 適切な準備があれば、「課題とすべきこと」に気づくことができる
- 学校図書館を利用するようになった

今回の実践で、 生徒はどのように変わったか②

- 多角的な視点から事象を捉えられるようになった
- 職業観、雇用者・被雇用者の関係の理解が深まった
- 生徒が変化した印象はないが、数値での変化は得られているので、「種」は植えられてたと思う
- 教訓を引き出すコツを見つけることで、ノートの取り方が変わった
- 自身の心のあり様を客観的に見つめることができるようになった

あなた(先生)は、どのようなところが どのように変りましたか①

- 学校外での活動を知ることができた
- 生徒の誤答の理由が見えて来るようになりつつある
- 教材づくりに幅がでてきた
- 教材作りの新たな着想を得ることができた
- 心の健康についての知見が深まった
- 研究をする視点について、垣間見ることができた
- 授業の新たな切り口を気づかせてもらった
- 探求型の学習の進め方と図書館との関わりについて考えることができた

あなた(先生)は、どのようなところが どのように変りましたか②

- これまで感覚的に良いだろうと思っていたことについて、自信を持てた
- 職業人として、社会システムの再考の機会となった
- 学校教育に何が足りないか、不要なのかを問いなおす機会が得られた
- 普段の指導を振り返り、その意義を見直すことができた
- さまざまな面で、新たな視点を得ることができた
- 自分の中に、これまでの指導に+αの要素ができた
- 中・高の教員とは異なる視点で、本校の教育を見直すことができた

あなた(先生)は、どのようなところが どのように変りましたか③

- 守備範囲を意識的に広げるようになった
- 面談等で成績についての話題をする際、勉強法について掘り下げて指導するようになった
- 教育内容にはさまざまな観点があることを実感し、自分の授業に活かすことを考えている
- 活用の中で知識を習得していく際の授業のデザインと、評価について、より強く意識するようになった
- 東大の研究の一端を知り、附属学校の立場を理解した
- 私はもう変わらない